

土作りの充実と良食味米生産について

美味しいお米の生産、収量確保のためにもケイ酸資材の施用をおすすめします。

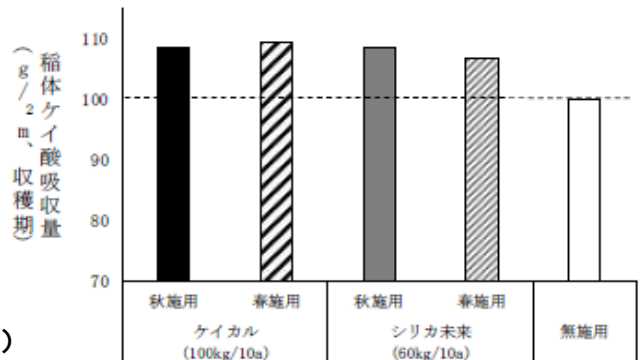
ケイ酸を十分に吸収した稲は倒伏軽減、登熟歩合の向上、高温障害への耐性、
 いもち病に強くなる等の効果が期待できます。

秋散布と春散布は収穫後のケイ酸含有量が同程度

右のグラフは秋散布、春散布を実施し、土壤中の
 可給態ケイ酸含有量を測定したもので、秋・春の
 差は少なく成分の流亡はほとんどありません。

(参考資料:青森県農林総合研究所 生産環境部)

収穫後の可給態ケイ酸含量(混合りん肥3号も同様です。)



春は育苗、肥料散布、耕起など作業が集中する忙しい時期です。

秋散布を行うことで忙しい春の作業分散が図れます。

JAで行っている 混合りん肥3号(粒)の秋散布は春散布よりも低価格となっており、
 おすすめです。(秋散布は、春散布より10a当500円(税抜)もお得！)

《ケイ酸パワー568》(15-6-8-Mg1 ケイ酸14)

こまちパワーLP500にかわる一発型肥料として使用できます。

ケイ酸分14%、根の活力UP、光合成能力の維持により稲を硬く丈夫にし、
 冷害や高温障害に強い稲が期待できます。

こまち管内での施肥試験でも根張りや収量に良好な結果が得られております。

※令和2年度用生産資材の予約注文書が配布になっております。

次年度の生産計画を確認し、種籾・資材予約申し込みを忘れずをお願いいたします。

